

平成21年度優良PTA・功労者表彰

未来を担う子どもたちと共に「豊かな心・人間力」を高める活動を!

本紙は各校PTAに四部、内訳として「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局用」を目安にしています。



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂
7丁目5番38号
社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 相川 敬
電話 03(5545)7151
FAX. 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

本会は教育を本旨とする民主的団体であり、不偏不党・自主独立の性格を堅持し、PTAの健全な発展の維持、並びに青少年の幸福な成長を図ることを目的とする。

1面
●表彰式
●きざし
2・3面
●受賞校紹介
4・5面
●ブロック大会
6面
●県P自慢
7面
●文部科学省のページ
8面
●常任幹事会
●会長日記
●学校の窓から

全国から244団体・238人が受賞

11月18日(水)東京紀尾井町のホテルニューオータニにて、平成21年度優良PTA及び功労者表彰式が、川端達夫文部科学大臣をはじめ多数のご来賓をお迎えし盛大に開催された。今年度は文部科学大臣表彰120団体、日本PTA会長表彰124団体、個人表彰238人、感謝状が4人に贈られた。

日本PTA全国協議会年次表彰式は、多くのご来賓の方々のご臨席のもと、受賞者、各地方協議会関係者など約1000人が出席し、式典は友石晃由副会長の開会の辞、国歌斉唱、PTAの歌を斉唱の後、続いて相川敬会長より、多数のご来賓にご臨席の御礼と受賞者の方々の功績を讃えると共に「急速な情報技術・機器の進展などにより犯罪や高まる活動の繰り返すことではありませぬか」と式辞を述べた。



平成21年度優良PTAおよび功労者表彰式
文部科学省・社団法人日本PTA全国協議会

(公務で欠席のため坂田東一 文部科学事務次官代読) 参議院文教科学委員会委員長 長水落敏栄様よりそれぞれご祝辞を頂いた。

そして、受賞者を代表して熊本県曾我邦彦さんが「この表彰に感謝申し上げる。共にこれからのPTA活動が日本の未来を支えるために、出来る役割をきちんと担っていくことを約束する。」と謝辞を述べられ、遠藤正明副会長の閉会の辞で式典は盛況裡に終了した。



文部科学大臣 川端 達夫

このたび優良PTA文部科学大臣表彰を受けられた皆様、並びに日本PTA全国協議会会長表彰を受けた皆様、誠にありがとうございました。皆様方におかれましては、日頃より子どもたちの健全な成長を願ひ、愛情と熱意をもって、積極的なPTA活動に取り組んでこられたことに対し、深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

このため、文部科学省といたしましては、現在、教育費の負担を軽減し、すべての意志ある子どもたちが教育を受けられる環境を整備するため、高等学校の実質無償化の実現に取り組むとともに、地域が学校を支援する「学校支援地域本部事業」などの取組を全国に広め、学校を中心とした家庭や地域の「絆」作りを進めてまいります。

私共、近年の子どもたちが一人ひとりで抱え込み、誰にも相談できないでいる状況を非常に懸念しており、子どもたちが一人で苦しむ、悩んでいることを周りに打ち明けられることができるよう、保護者、教師、地域のみならず、子どもたちの声を聞ける耳を持つ、子どもが信頼して相談できる様々なチャネルを作っていただきたいと考えております。私も、学校や関係機関、地域社会が連携して、悩みを抱える子どもたちが安心して相談できる

式辞

会長 相川 敬



本表彰式は、日頃のPTA活動に優れたPTAや個人を表彰し、わが国PTA全体の発展に資するために開催するものでございませぬかと、PTA活動に力をつくす皆様、地域の発展に貢献され、他、他の模範となる大きな成果をあげてこられた。ここに全国1000万人の会員の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

さて、昨今、毎日のように報道される悲惨な事件、また、急速な情報技術・機器の進展による犯罪等、子どもたちの健全育成に深く影響を及ぼす事件・事故が

多く発生していることはご承知の通りであります。市場経済のつまずきから、社会が混乱し、所得格差・教育格差も取りざたされておりますが、ある種の混乱の中に「今、社会の混乱・悲劇的な事件・人を欺く行為等、嫌なことが頻発しているが、あらゆる悪は人間から招来しているものなら、あらゆる善もまた人間から招来することである。経済恐慌より、人間の心の格差・荒廃することの方がずっと恐ろしい。結局は人間を救うものは人間であり、その自覚のみが人間を救うことである。」と人間力への信頼を説いてい

ます。私共は、天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭

菊薫る今日のこのよき日に、平成21年度優良PTAおよび功労者の表彰式を挙げるにあたりまして、文部科学大臣 川端 達夫様をはじめ多数のご来賓のご臨席をいただき、このように盛大に開催できますことは、この上ない喜びでございます。

このたび優良PTA文部科学大臣表彰を受けられた皆様、並びに日本PTA全国協議会会長表彰を受けた皆様、誠にありがとうございました。

私共、近年の子どもたちが一人ひとりで抱え込み、誰にも相談できないでいる状況を非常に懸念しており、子どもたちが一人で苦しむ、悩んでいることを周りに打ち明けられることができるよう、保護者、教師、地域のみならず、子どもたちの声を聞ける耳を持つ、子どもが信頼して相談できる様々なチャネルを作っていただきたいと考えております。私も、学校や関係機関、地域社会が連携して、悩みを抱える子どもたちが安心して相談できる

この度は長年に渡り、青少年の健全な育成を目指し、PTA活動に従事され、文部科学大臣表彰、会長表彰を受けられた皆様、心より敬意を表し、心より感謝申し上げます。

このたび優良PTA文部科学大臣表彰を受けられた皆様、並びに日本PTA全国協議会会長表彰を受けた皆様、誠にありがとうございました。

祝辞

委員長 水落 敏英

今日のPTAの状況を、ご理解賜り、今後とも宜しくご指導ご支援下さいますようお願い申し上げます。ありがとうございます。

このたび優良PTA文部科学大臣表彰を受けられた皆様、並びに日本PTA全国協議会会長表彰を受けた皆様、誠にありがとうございました。

きざし
エンザが全国で蔓延している。本学でも、ほとんどの学年で、学年閉鎖となった。心配なのは、3年生の受験期である。季節性インフルエンザと重なり、どうしようもない状況になる恐れがある。学校としても、養護教諭を中心に、「うがい・手洗い」を保健委員会を中心に励行させている。養護教諭から話を聞くと、家庭で体温を測るよう指導しているが、ほとんどの家庭で体温を測っていないようである。これでは、学校ではどうしようもなく、健康状態を把握しきれない。是非家庭で健康管理をしっかりとってほしい。

受賞校の喜びの声

謝辞
熊本県 曾我 邦彦

本日は文部科学大臣賞を賜り、誠にありがとうございます。受賞校として文部科学大臣賞を受賞の栄に浴し、会員一同喜びに堪えません。これも、子どもたちのために今まで諸先輩方が築き上げてきたPTAの伝統と学校、地域の方々のご理解と協力があっての受賞だと考えております。会員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。本会は、近年子どもとコミュニケーションを図り、

文部科学大臣表彰

福島県双葉郡楡葉町立楡葉北小学校

このたびは優良PTA団体として文部科学大臣賞を受賞の栄に浴し、会員一同喜びに堪えません。これも、子どもたちのために今まで諸先輩方が築き上げてきたPTAの伝統と学校、地域の方々のご理解と協力があっての受賞だと考えております。会員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。本会は、近年子どもとコミュニケーションを図り、



空き缶回収、リサイクルバザーといった物の再利用を考えた活動や靴飛ばし大活動の一端を紹介いたしました。この度の受賞を励みに、親子の絆を深め、会員同士が連携し、子どもたちの健全な成長をめざしながら学校、家庭、地域が一体となった活動を進めていきたいと思います。終わりに、歴代PTAの方々のご尽力の賜物であるお礼の言葉を申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

佐賀県みやき町立中原中学校

栄えある、文部科学大臣表彰受賞後、帰宅するまで緊張が続きました。表彰状は一番に家族へ披露。少し鼻を高くして、今までの協力に感謝しました。受賞後一週間近くになり、地元新聞社やNPO法人からの取材を受け、中原中の全員参加型PTA活動をさらにご理解いただけるものと思っております。今後は、町長、教育長へ

PTA行事を企画、立案する役員は負担はやはりありますが、企画案に賛同し、参加してもらって喜びは、役員にならないと、分らないと思っております。この歴史は平成14年、場所が中原小学校へ廻りまわります。何となく、PTA会長を引き受けた私がいま、この時の役員が全員でPTAを盛り上げるために、少し無理をしよう!!の声で役員の仕事の有り方、

学校法人 岩国学園 岩国中央幼稚園

この度の受賞にあたり、関係各位の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。本園は昭和31年の創立以来、地域の皆様のご支援を頂いて幼児教育の推進に取り組んでまいりました。幼稚園の教育現場は、保護者の協力がなければ本当に前に進むことはできません。そういった意味で歴代の



多くの役員の方々から物心両面で助けていただけてまいりました。PTAが設立された当初は母親が主体となっていた活動でしたが、「母の会の名称でしたが、昭和45年より「育ての会」とし、保護者全員の参加を促すように名称を変更されたようです。しかしどうしても実際に

活動するのは、時間に融通がきく母親が中心となるのは仕方ないところでした。そこでお父さんの有志が中心となって平成18年にはパバクラブが設立され、手では足りない力仕事など、様々な場面で協力いただいております。「親の背中を見て子は育つ」という言葉があるように、こういったボランティアに活躍するご両親の姿を子どもたちに見せることにより、望ましい心情・意欲・態度が養われていくと思っております。また育ての会の活動の特色としては、小学校にある図書館の役割を「育ての会文庫」として運営していただいております。新書の購入や絵本の補修、貸出を通して子どもたちの情操教育の一翼を担うていただいております。園行事の夏祭りや運動会、おゆうぎ会の手伝いなど、幼稚園の教育の重要な場面、場面で大きな力を発揮されています。

大阪府立視覚支援学校

本年度の優良PTA文部科学大臣表彰団体として私も大阪府立視覚支援学校PTAを推薦していただき、大変光栄なことに嬉しく存じております。本校は、大正3年に私立大阪盲訓院として開設されて以来、94年という学校の歴史を積み重ねてまいりました。この度の受賞は私だけの賞ではなく、歴代PTAの方々のご尽力の賜物であるお礼の言葉を申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

①職場・作業所等の見学の親子の散歩、冬には白鳥が羽を休ませる自然豊かな場所にあります。

私どもPTAは、この度の受賞を機に、よりよい教育の展開に寄与する団体として、今までの努力を重んじてまいりたいと考えております。今後は、皆様のご支援をより一層お願いいたします。

青森市立東中学校PTA

青森市東部、東岳の麓に抱かれた本校は長閑な田園に囲まれ、春にはカルガモの親子の散歩、冬には白鳥が羽を休ませる自然豊かな場所にあります。

古来より伝わる「杵」と「臼」による本格的な餅つきを生徒に体験させています。「キャリア教育」にも積極的に取り組み、生徒たちの職業観の確立を目指し、四年前から青森青年会議所の協力のもと、将来自立し、

東京都文京区立昭和小学校

この度、平成21年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞にあたり、PTA一同大変光栄に思っております。昭和23年4月にPTAが設立されました。PTA活動として、60年間活動してまいりましたが、このような形で、文部科学大臣賞を受賞しました事は、日ごろより保護者の皆様、学校、地域の方々のご理解、ご協力により成しえた賞だと心より感謝いたしております。

この教育目標で、生きる、育成を遂げる過程で昭和の子が成長してきています。昭和23年4月にPTAが設立されました。PTA活動として、60年間活動してまいりますが、このような形で、文部科学大臣賞を受賞しました事は、日ごろより保護者の皆様、学校、地域の方々のご理解、ご協力により成しえた賞だと心より感謝いたしております。

この度は、このような名誉ある、文部科学大臣賞、本当にありがとうございます。各PTA関係者皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。



子どもが成長と共に悩んで行く様に保護者も親として時に悩み、また子育てを通して多くを学ぶことだと考えます。PTAは学校教育のサポーターであると共に保護者としての自己研修の場でもあり、他者との交流による社会教育を実践する現場でもあると思っております。この度の受賞はPTAの励みとし、地域の宝としての生徒と関りながら、生涯楽しく学び続けていきたいと考えております。有難うございました。



子どもが成長と共に悩んで行く様に保護者も親として時に悩み、また子育てを通して多くを学ぶことだと考えます。PTAは学校教育のサポーターであると共に保護者としての自己研修の場でもあり、他者との交流による社会教育を実践する現場でもあると思っております。この度の受賞はPTAの励みとし、地域の宝としての生徒と関りながら、生涯楽しく学び続けていきたいと考えております。有難うございました。

日本PTA会長表彰

北海道室蘭市立大沢小学校父母の会と先生の会

このたびは、栄誉ある賞をいただきありがとうございます。受賞の喜びを今PTAの土台を築いてくださった多くの諸先輩や地域の方々、そして、教職員の皆様方で分かち合いたいと思います。

本校は、児童数123名、P実数96世帯の小規模校です。校区は、新日本製鐵のお膝元として発展した活気ある商業経済地域です。世代交代を経た現在も人々の地域に対する熱い思いは受け継がれています。そのような歴史もあり、教育熱心な保護者や地域の方



雪の中も保護者に代わって子ども達を見守っていた役員さんたち。PTA活動は、今年5回の総会、年間5回の全委員会を軸として、各委員会が随時行っている。委員会は随時行っている。委員会は随時行っている。

が多く、エコ石鹼づくりやバザー、地域パトロールなどバワフルな活動が活発に行われています。

エコ石鹼は、廃油を利用して手製の石鹼で、地域の皆様方とバザーで販売し、その収益は児童の教育活動に役立てています。生活委員会では、「子どもを守る家」の旗を交換する活動を通して、地域の方々から情報等を得るなど、子どもが安心して暮らせる街を目指しています。

また、地域の方々を中心とした防犯パトロールは、雨の日も風の日も冬の吹雪の中も保護者に代わって子ども達を見守っていた役員さんたち。PTA活動は、今年5回の総会、年間5回の全委員会を軸として、各委員会が随時行っている。委員会は随時行っている。

待に心えるためにも、具体的な取組や課題、改善の方向など意見交換の場を多く取り入れながら、この賞の

愛知県稲沢市立領内小学校PTA

領内小学校PTAは、学校と保護者、学校と地域との架け橋として、家庭の教育力、地域の教育力を活用するとともに、保護者自身も学び、成長していく活動を展開してきた。これが、今回の受賞となり、喜ばしい限りである。PTA活動は今年1回の総会、年間5回の全委員会を軸として、各委員会が随時行っている。委員会は随時行っている。

1 親子のふれあい活動
年3回の環境整備奉仕作業を実施するなか、普段見ることのなかった子供たちの様子や、親子で汗を流す大切さを実感できた。また、地区運動会では、子供、保護者、祖父母、地域の方々が協力し、楽しい時間を過ごし、一体感を高めている。

2 親力を高める研修
ブックカバリングの会では、毎年、200冊以上の本にブックカバーを装着し、読書の大切さについての理解も得ている。また、



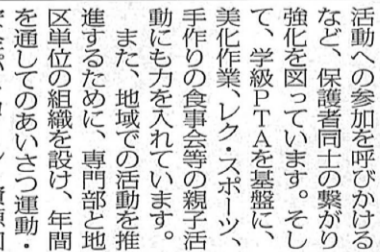
ブックカバリングの会では、毎年、200冊以上の本にブックカバーを装着し、読書の大切さについての理解も得ている。また、

鳥取県倉吉市立鴨川中学校PTA

この度は、すばらしい賞をいただき、会員一同望外の喜びに湧いているところ。今日まで地道に取り組みできた全会員による活動の成果だと思えます。この受賞を励みに、さらに、月1回の定例会を開催し、活動の企画運営や、子供の様子などの情報交換を行っている。夏休みのPTA開放では、スイカわり大会を企画したり、消防署へ出かけ救命法の講習を受けたりした。領内まつりへの

セルフディフェンス講座では、子供を取り巻く様々な危機管理や、コミュニケーションの方法を学んでいる。さらに、学校保健委員会では、会員に参加を呼びかけ、子供とともに規則正しい生活の大切さについて学び、家庭生活の改善へのきっかけとなった。

3 おやじの会の活動
会員の父親とOBで組織し、月1回の定例会を開催し、活動の企画運営や、子供の様子などの情報交換を行っている。夏休みのPTA開放では、スイカわり大会を企画したり、消防署へ出かけ救命法の講習を受けたりした。領内まつりへの



PTA活動は、今年5回の総会、年間5回の全委員会を軸として、各委員会が随時行っている。委員会は随時行っている。

新潟県刈羽村立刈羽小学校PTA

この度は、日本PTA全国協議会会長賞をいただきありがとうございます。代表して表彰状を授かりましたが、今までの活動の重みを実感した授賞式でした。

刈羽小学校PTAは、昭和54年の刈羽小学校開校とともにPTA組織を発足し、昨年、創立30周年を迎えたばかりです。長年の活

動が評価されての受賞という事で、PTA会員全員で喜んでおります。

長年継続してきたPTA活動として、教育講演会があります。その年のPTAの活動テーマに添った講演会を実施し、今年度は「携帯電話の危険性」について、講師をお呼びして講演をいただきました。オープンスクールの日にも「親子が身を守る方法」について考えることができました。

また、これらの活動の他にも、4年前からノーテレビ・ノーゲームの取組を継続実施し、その結果「親子の会話が増えた」とのうれしい感想もいただいています。

毎月第2金曜日には、PTAであいさつ隊を組織

奈良県大和高田市立浮孔小学校PTA

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

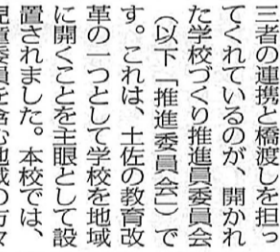


先生方、PTA一同心を一つにし、子供たちのため活動と共に頑張っているからこそのことだと思います。歴史を長から継承されてきた活動も、地域の方々と連携し、

高知県宿毛市立山奈小学校PTA

この度は名譽ある賞をいただき大変うれしく心から感謝しております。本校の特色は、数年前からPTA活動に、開かれた学校づくり推進委員会と地域住民が加わったPTOCAという発想で取り組んできました。

毎年交流も深めながら実施しています。昨年度発足したボランティア部では、学校支援地域本部事業の地域住民学校支援ボランティアと連携して、学校から地域へ、地域から学校への橋渡しをしながらボランティアの活動を広げ取り組んでいます。これからは浮孔小学校の良き所を活かしながら日々PTA活動に動かし、参りたいと思っております。この度はすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。



PTA活動に、開かれた学校づくり推進委員会と地域住民が加わったPTOCAという発想で取り組んできました。

出店が恒例となり、「クッティングもいけるお父さん」をアピールしている。朝のラジオ体操では、会員が朝礼台に立ち、交替で示範を



PTA活動に、開かれた学校づくり推進委員会と地域住民が加わったPTOCAという発想で取り組んできました。

まず、各会員の了解を得て学級ごとに家庭連絡網を整備し、学校行事やPTA活動への参加を呼びかけるなど、保護者同士の繋がりを強化を図っています。そして、学級PTAを基盤に、美化作業、レク・スポーツ、手作りの食卓等の親子活動にも力を入れています。

また、地域での活動を推進するために、専門部と地区単位の組織を設け、年間を通してのあいさつ運動・安全パトロール・資源回収、地区懇談会、地区運動会など生徒の地域行事への参加等を行っています。PTA会報は年4回発行し、校区内に全戸配布しています。

今後さらに生徒数の減少が予想される中、実情に応じた活動が展開できるように前例にとらわれず、必要なら改革を押し進めていきたいと考えています。



この度は、日本PTA全国協議会会長賞をいただきありがとうございます。代表して表彰状を授かりましたが、今までの活動の重みを実感した授賞式でした。

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

この度は、栄誉あるすばらしい賞をいただきまして本当にありがとうございます。本校ではPTA役員OB、地域の皆様方が参加して学校行事、PTA行事は勿論のこと、日々PTA活動に尽力いただいております。感謝している次第でございます。何よりも地域の方々との繋がりが浮孔小学校の良き所であり、またそれは地域の方々にも学校へ来校していただきやすい環境を大切に、校長先生はじめ諸

各地のブロック研究大会から

未来に向けて 熱いメッセージを発信

北海道ブロック・釧路大会

豊かな北の大地で子どもたちの生きる力と夢をはぐくむPTA活動

10月3・4日



分科会協議の様子

開催地となった釧路市は、北海道東部、太平洋沿岸に位置し、国の特別天然記念物である丹頂やマリモが生息する「釧路湿原」阿寒の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街です。異国情緒が漂う霧の都としても有名です。今回の釧路大会は「エコ大会」と位置づけ、会場の移動については徒歩で移動できる範囲に設定し、車での移動を極力少なくする工夫も見られました。



提言・司会者等打合せ

大会スローガンを「豊かな北の大地で子どもたちの生きる力と夢をはぐくむPTA活動」、大会主題を「豊かな自然を活かし子どもと

共につくPTA活動」とし、全道から約1500名の参加者が集い、2日間にわたって開催されました。1日目は4力所の会場で7領域による分科会に分かれ研究協議を行いました。

分科会には「組織・運営」、「家庭教育」、「学校支援」、「地域連携」、「食育」に加え、「地域交流課題」として特別第1分科会「危険な情報から子どもを守るPTA」、特別第2分科会「特色ある地域の活動にかかわるPTA」を設定し、研究を深めました。

特1分科会では、北海道ブロック研究大会で初めての試みである小学生から高校生までの6名のパネリストが参加しての実施となりました。昨今問題となっている携帯電話やインターネットにより引き起こされる事件・事故や、ネットやブログによるいじめの問題などについて、大人の考えと子どもたち本音を聞きながら、それぞれが何を考えどのように行動すべきかが明らかにされました。

2日目は全体会と講演会を開催しました。講演会ではアルビニストの野口健氏から「富士山から日本を変える」と題し、幼少時代・青年時代の生い立ちから登山約2600名の会員が参加して、開催された。大会テ

東海北陸ブロック・名古屋大会

未来へ 今できること
～みんなで鳴らそう 家庭・学校・地域のトライアングル～

10月23・24日



全体会

「未来へ、今できること～みんなで鳴らそう」をテーマとした。未来を担う子どもたちのために、親として、地域の大人として、また、学校・家庭・地域の架け橋として、今できることを考え、発信するとともに自らの実践につなげるきっかけにしたいと考

えたいからである。第1日目の分科会には、「家庭教育」「学校支援」「地域連携」の3領域で、

11単位PTAと1団体の実践発表を行った。第1・2分科会(家庭教育)では、子どもたちと語り合うことの大切さや、親子でPTA活動に参加したり父親が家庭教育に積極的にかかわったりすることの意義について、熱心に話し合われた。「やっ

よかった」「参加してよかった」というPTA活動に対することの大切さについて、共通理解が図られた。第3・4分科会(学校支

援)では、PTA活動における学校支援の意義について話し合われた。参加者全体が、PTAの学校を支援する活動に、より積極的に参加することの大切さを共有することができた。地域との連携も強化しながら、PTA活動を学校支援につなげていくことの大切さについて助言があった。

第5・6分科会(地域連携)では、地域の各種団体と連携し、地域の人材や地場産業などの地域資源を活用したPTA活動について発表があった。子どもたちの健全育成を目指した学

校・家庭・地域の架け橋となるPTA活動について理解が深まった。地域連携がうまくいくかどうかは、「地域の特性の活用」「子どもの成長を共に喜ぶこと」「運営のノウハウの工夫」の3点が大切との助言があった。

大会2日目の全体会は、オープニングとして「いっしょに真ん中祭り」に参加している団体「猩々(しょうじゅう)」の踊りが披露された。開会式では、熊田光男大会会長、相川敬日PTA長、河村たか

古屋市議会議長の祝辞を受けてから、功労者表彰を行った。その後、キャスターで千葉大学特命教授の木場弘子氏を講師に招き、「のびのび子育てのススメ」と題した記念講演を行った。ご自身の子育てやこれまでの仕事上での体験を基に、具体的な事例を取り上げて、積極的なコミュニケーション・母親が明るく振る舞うこと・子どもの頑張った過程を認めること大切さなどについて話された。参加者からも大変好評な講演であった。

アルビニスト、野口健氏による大会記念講演は「富士山から日本を変える」と題され、少年時代の挫折を乗り越え、7大陸最高峰世界最年少登頂記録の偉業を成し、エベレストや富士山の清掃活動を命がけで行うまでの自身の経験談が、笑いと涙を誘いながら軽妙に語りかけられた。環境保護の重要性と、夢と個性ある子供を育てる為の示唆に富む、大会テーマに即した心に残る有意義な講演であり、満場の参加者から惜しまない拍手が送られた。最後に、来年度、全国大会と兼ねられた千葉大会の紹介に引き続き、全員での「ふじ山」の大合唱が、本大会に花を添えた。

関東ブロック・山梨大会

「富士山発 子どもたちの未来へ」
「育もう、人への思いやりと、自然に対するやさしさを」

10月16・17日

第41回関東ブロック研究大会は「富士山発、子どもたちの未来へ」育もう、人への思いやりと、自然に対するやさしさを大会スローガンに、平成21年10月16日(金)・17日(土)の両日にわたり、自然の美しさにあふれた富士山麓の5市町村で開催された。

1日目の16日には県外参加者約800名を含む2000名を超える参加者が、

それぞれ分科会では、有意義な実践活動や研究発表など、今後のPTA活動に役立つ事例が数多く発表された。特に、本年度、関東ブロック大会としては新たに取り入れられた「環境

学習・環境保護」の第8分科会が、富士河口湖町の環境科学研究所で行われ、同研究所の環境教育プログラムの紹介とともに、子供たちが直接参加した実践活動を取り上げた2件の発表がなされた。地球規模から、目の前の出来事まで、広範囲にわたる環境問題は、まさに目の前のできることから実践が重要だということが非常にわかりやすく発表された。

山梨県、忍野村、富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村の8会場に分かれ、合わせて10のテーマによる研究発表やシンポジウムに参加した。

そのほか、国際化、IT化、食生活の変化など、今日の急激に変化する、子供たちを取り巻く環境に対して、大人たちがより能動的に対応し、思いやりの心に満たされた健康な子供たちを育てるための様々な実践例が発表された。

表され、大いに共感を得た。その他、国際化、IT化、食生活の変化など、今日の急激に変化する、子供たちを取り巻く環境に対して、大人たちがより能動的に対応し、思いやりの心に満たされた健康な子供たちを育てるための様々な実践例が発表された。

いずれも時代に即応した新鮮な情報に満ちた研究例が目立ち、それぞれ和やかな雰囲気の中で熱心な討議が交わされた。

2日目、17日には、富士吉田市の富士山アリーナで相川敬日本PTA会長、小松重仁山梨県副知事など多数の来賓の出席の下で、全体会が行われた。地元の子供たちで構成された「富士山火焔太鼓」の勇壮なパフォーマンスに



記念講演 野口 健氏



記念講演の講師 木場弘子氏

閉会式では、清水啓介実行委員長のお礼の言葉や福井県PTA連合会から次期開催についてのPRがあった。幸いにも天候に恵まれ、2日間の大会が、無事、成功裏に終了した。

近畿ブロック・和歌山大会

「和(なごみ)」

「つれもていこら!」 子どもの幸せのために

「家庭の和」「地域の和」を大切にしたい、広げていきたいという思いから、和歌山大会の大会スローガンを「和(なごみ)つれもていこら」とし、近畿各地のPTA活動の成果を持ち寄り、協議を深め、新たな展望や指針を見つ出し、新しいPTA活動を構築するため、本研究会を開催した。

大会概要

平成21年11月3日に和歌山市において第35回(社)日本PTA近畿ブロック研究大会和歌山大会を開催した。例年、近畿ブロック研究大会は、午前中は全体会、午後には分科会を行っていたが、和歌山大会は記念講演の講師先生の都合で午前中に分科会、午後から全体会を行うことになった。参加者の皆様には早朝よりそれぞれ分科会会場に分かれて参加いただいた。

分科会は特別分科会を含め6分科会を開催し、近畿各府県市PTA協議会・連合会のPTAから実践発表があり、研究協議がなされた。各分科会は満席の状態、研究発表、研究協議と真剣に研修を深め、本大会のテーマである「和(なごみ)つれもていこら」を分科会参加者と分科会運営スタッフ全員で実践できたことは大変意義のある分科会となった。

午後全体会では和歌山県知事、和歌山市長等多くの来賓に臨席いただき開会



記念講演 西川ヘレン氏

11月3日

四国ブロック・高知大会

子どもは宝、ともに歩もう、 未来に向けて

10月18日



全体会

第38回四国ブロックPTA研究大会高知大会は「子どもは宝、ともに歩もう、未来に向けて」というテーマで、高知市で開かれ、四国四県のPTA会員が共通の課題について研究協議し、会員及び関係者との交流と理解を深め、新しい時代の要請に応える活動を推進して行くことと10月18日(日)に高知市で開催され、四国四県よりPTA会員及び関係者1500名の参加者が集い、全体会並びに4つの分科会が行われました。開会式行事では、相川敬日P会長や尾崎正直高知県知事をはじめ多くの来賓出席のもと「子どもは宝、ともに歩もう、未来に向けて」を大会スローガンに、また「学校・家庭・地域が連携し行動するPTA活動の推進」児童の安全を守り、命の

大切さを育むPTA活動の推進」の二つを大会テーマとして大会が始まりました。開会式行事後のアトラクションでは高知県室戸市立佐喜浜小学校の児童による「子ども俄(にわか)」が行われました。この俄は佐喜浜地区に古くから伝わる伝統芸能で、19年度より子どもたちも伝統を継承して行う活動を始め、町内の祭りや市民祭でも演じられるようになりました。今回も即興で作られた台本で演じられる、子どもたちが扮した教育長とPTA会長との絶妙なやり取りに、会場からは笑いと涙、そして割れんばかりの拍手が沸き起こりました。午後からの記念講演は心

中国ブロック・島根県松江大会

親子で語ろう「生きる力」

11月7日



全体会

催された。本大会の特徴は八つのテーマを設定し、PTA会員一人ひとりが持っている課題に応じて分科会に参加し、協議の中で考え方が深まるよう工夫した点にある。具体的には、
◇第1分科会「PTA活動のあり方について」
◇第2分科会「いじめについて」
◇第3分科会「食育について」
◇第4分科会「学力向上」
◇第5分科会「早期・早起・朝ご飯」
◇第6分科会「親子のコミュニケーション」
◇第7分科会「放課後の活動」
◇第8分科会「子どもを育てる」

学校で行う食育に頼るのではなく、大切なのは、家庭で行う食育である。
◇第4分科会「子どもとメディアとの接触が、子どもたちに何をもちたか。テレビ・ゲーム・携帯・インターネットに明け暮れる子どもたちの身体と人格に大きな影響が出始めている。家庭は、学校と地域は何をどうすればよいのかを一緒に考える。
◇第5分科会「学力向上」
◇第6分科会「親子のコミュニケーション」
◇第7分科会「放課後の活動」
◇第8分科会「子どもを育てる」

九州ブロック・福岡県大会

拓こう!素晴らしい子ども の未来、家庭・学校・ 地域で奏でる子育て・親 育ちのハーモニー

10月24・25日



全体会

講演終了後は、各分科会に分かれ「地域づくり」「学校運営」「危機管理」「家庭教育」の4つのテーマに沿って四国各地で活動されているPTAの事例発表がありました。どのPTAもいっしょに活動計画検討しているという報告がありました。また、「子どもは宝、ともに歩もう、未来に向けて」を大会スローガンに、また「学校・家庭・地域が連携し行動するPTA活動の推進」児童の安全を守り、命の大切さを育むPTA活動の推進」の二つを大会テーマとして大会が始まりました。開会式行事後のアトラクションでは高知県室戸市立佐喜浜小学校の児童による「子ども俄(にわか)」が行われました。この俄は佐喜浜地区に古くから伝わる伝統芸能で、19年度より子どもたちも伝統を継承して行う活動を始め、町内の祭りや市民祭でも演じられるようになりました。今回も即興で作られた台本で演じられる、子どもたちが扮した教育長とPTA会長との絶妙なやり取りに、会場からは笑いと涙、そして割れんばかりの拍手が沸き起こりました。午後からの記念講演は心



全体会

九州ブロックPTA協議会では、九P活動54年の歴史と伝統を受け継ぎ、「九州は一つ」を合言葉に各県が抱える現状や課題を共有し、子どもたちの「生きる力」を育むため、組織の力を結集して情報の共有化、実践化を図っています。そこで、福岡県大会で1万2000名以上の参加で、大成功に終わりました。みんなで力を合わせて絆を深める福岡県大会にしよう、平成18年度から準備・企画をしてきました。当初、10名程度の実行委員会から始めた委員会が、大会年度には1300名もの実行委員会メンバーとなり、また、当日参加も県内7000名の参加を頂き、会員一丸となった意義ある大会となりました。九州ブロックPTA協議会では、九P活動54年の歴史と伝統を受け継ぎ、「九州は一つ」を合言葉に各県が抱える現状や課題を共有し、子どもたちの「生きる力」を育むため、組織の力を結集して情報の共有化、実践化を図っています。そこで、福岡県大会で1万2000名以上の参加で、大成功に終わりました。みんなで力を合わせて絆を深める福岡県大会にしよう、平成18年度から準備・企画をしてきました。当初、10名程度の実行委員会から始めた委員会が、大会年度には1300名もの実行委員会メンバーとなり、また、当日参加も県内7000名の参加を頂き、会員一丸となった意義ある大会となりました。九州ブロックPTA協議

特別分科会
は、福岡県PTAはもろろん、九州各県のPTA活動に大きな示唆を与えていただきました。

文部科学省

子どもの徳育の充実に 向けた在り方について(報告)

1 背景

徳育の充実に社会総がかりで推進する方策を検討するため、平成20年8月に「子どもの徳育に関する懇談会」を文部科学省に設置しました。本懇談会では、子どもが心身ともに健やかに成長し、豊かな道徳性を身に付けた社会の形成者として自立することを社会総がかりで支援するため、家庭・地域・学校における子どもの徳育の充実に向けた方策の在り方について、計12回の会議を開催して審議を進め、平成21年9月に「子どもの徳育の充実に向けた在り方について(報告)」を取りまとめました。

2 報告書の内容
本報告書では、まず、徳育の意義とその普遍性についての基本的な認識について触れ、その上で社会環境の変化を踏まえた現代の子どもの発達と徳育をめぐる今日的課題を整理し、社会全体で直ちに子どもの徳育に取り組む必要性について強く説いていきます。

次に、子どもの発達段階ごとの特徴を踏まえた徳育の在り方、社会総がかりでの徳育の今後の在り方、乳幼児期から、小学校、中学校、高等学校といった、子どもの発達段階を十分に踏まえた上での徳育の充実に必要な明確化し、特に発達段階ごとに重点的に取り組むべき内容として、以下の観点を示しました。

①乳幼児期からの、基本的な生活習慣の形成
②幼児期からの、多様な体験を通じた社会性の涵養、発達段階に応じた人間関係能力の学習、言語能力の醸成
③学童前期からの、社会や集団のマナー・ルールに関する継続的な指導、発達段階に応じた、法や決まりの意義の理解など、規範意識の確立、市民性の涵養
④学童前期からの、自己肯定感と自らの成長によって得られる自己達成感、自己有用感の育成
⑤青年期以降における、人間としての生き方、在り方を踏まえ、自らの生き方をよく考え、人生を切り拓く力の育成
⑥各発達段階における、豊かな情操の涵養と、未来

の主権者・社会形成に参加する一員という、自立した大人を目指す教育

(1)子どもの発達段階ごとの特徴を踏まえた徳育の今後の在り方
今日の新課程や発達段階ごとの特徴を踏まえ、社会総がかりとなって子どもの徳育の充実に向けて今すぐ取り組む事項について、10の方策を提言しています。

(2)社会総がかりによる子どもの徳育の推進
提言1 家庭で子どもに愛情を持って接し、生活上の基本的なしつけを行うこと
提言2 家庭教育の支援とワーク・ライフ・バランスの推進を図ること
提言3 子育て関係団体と連携協力し、地域の子育ての取組を充実すること
提言4 全般的な体制づくりを通じ、各学校において道徳教育を充実すること
提言5 道徳教育に関する教材の活用への支援と教師の資質向上を図ること
提言6 発達段階に応じた子どもの体験活動の充実を図ること
提言7 絵本の読み聞かせや古典に親しむ等の読書活動の充実を幼児期から図ること
提言8 有書情報から子どもを守る取組や情報モラル教育を推進すること
提言9 子ども向けの良質な番組提供や出版等への取組を充実すること
提言10 子どもの徳育の充実に向けた啓発活動を推進すること

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

家族で楽しむにっぽんのお正月 博物館に初もうで

東京国立博物館 2010年 新春 1月2日から開館

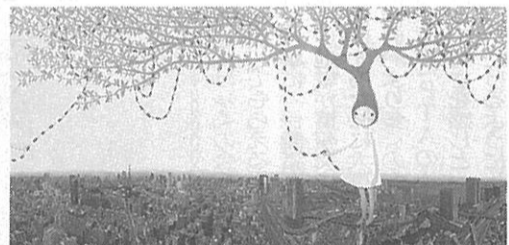
日本美術の名品はもちろ博物館のお正月。今年もまた、お正月らしい芸能も楽しむいただける東京国立博物館に初もうで。1月2日から開館いたします。2日、3日は和太鼓や獅子舞などのイベントも盛りだくさんです。美しい日本の文化と伝統にふれて心豊かな新年のスタートをお迎えください。



虎図 円山応挙 江戸時代 18世紀 新春特別展示「寅之巻」1月2日(土)～1月31日(日) 本館特別2室より

「DOMANI・明日展」

は、文化庁の在外研修制度により、海外派遣された若手アーティストの発表の場として1998年より毎年開催され、今年で12回を数えることになりました。美術部門の様々なジャンルより12名の実力作家を輩出し、現在日本の美術の一面を切り取って紹介するものです。



会期は、2009年12月12日(土)～2010年1月24日(日)。会場は、国立新美術館。観覧料は、大人1000円、大学生700円、高校生以下は無料。問合せ先は、03-5777-8600(ハローダイヤル)。

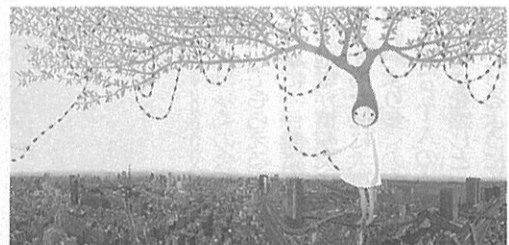


白釉鉄絵魚形枕 磁洲窯 金～元時代 12～13世紀 新春特別展示「寅之巻」(1月2日(土)～1月31日(日) 本館特別2室)より

「寅之巻」は、虎の子供を非常に大切に育てる動物として知られ、端午の節句には子供を守る悪魔よけとされ、白虎は青龍、朱雀、玄武と並んで東西南北を象徴する四神の一つ。「虎の子」として、深い愛情をもち、虎を題材とした日本、中国、朝鮮の作品を集め、新年を祝います。

国立新美術館

若手芸術家 海外研修の成果を発表



「DOMANI・明日展」は、文化庁の在外研修制度により、海外派遣された若手アーティストの発表の場として1998年より毎年開催され、今年で12回を数えることになりました。美術部門の様々なジャンルより12名の実力作家を輩出し、現在日本の美術の一面を切り取って紹介するものです。

冬季企画展

飛鳥の考古学2009

平成22年1月22日～2月28日まで

奈良文化財研究所飛鳥資料館

飛鳥地域における最新の「奈良文化財研究所飛鳥資料館」の発掘成果を広く紹介する「飛鳥の考古学」と題する企画展を毎年開催して

特別展覧会

「THE HAPSブルク」

1869年に日本とオーストリア・ハンガリー二重(オーストリア)とプロシヤ(ドイツ)が国交を樹立し、140年がたちます。これを記念して、ハプスブルク家の歴史を振り返ります。



ティエゴ・ペラスケス「白衣の王女マルガリータ・テレサ」1690年頃 油彩、カンヴァス ウィーン美術史美術館蔵 © Kunsthist. torisches Museum Vienna

ハプスブルク家ゆかりの絵画に、明治天皇がフランス・ヨーゼフ皇帝に友好のしるしとして贈った画帖(当時の絵師による日本の風景や暮らしを描いた100枚の絵を綴じたもの)と二基の絵巻が、日本に初めて里帰りします。面者について、当館のスタッフがウィーンへ赴き調査した最新の成果とともに公開します。

特別陳列

「おん祭と春日信仰の美術」 (奈良国立博物館)

平成21年12月8日(火)～平成22年1月17日(日)

ハローダイヤル
050-5542-8600



重要文化財 舞楽面 散手 奈良・春日大社

奈良の歳末を飾る一大祭礼・春日若宮おん祭は、平安時代の始まりとされるおん祭の時期にあわせて主祭神である若宮神やおん祭にまつる美術工芸品・歴史資料等を紹介します。また、おん祭の歴史や、おん祭の一端を展示するおん祭室でもお楽しみいただけます。また、おん祭を支える春日信仰の結晶ともいえる華麗な絵巻の魅力に周辺から迫ります。

九州国立博物館

開山無相大師650年遠諱記念 京都妙心寺禅の至宝と九州・琉球

平成22年1月1日(祝・金)～2月28日(日)

九州国立博物館の平成22年は、臨済宗大本山妙心寺開山・無相大師(関山慧玄、1277～1360)の650年遠諱を記念する特別展「京都妙心寺禅の至宝と九州・琉球」で始まり



4件におよぶ禅の至宝を展覧した「妙心寺展」

九州・沖繩色を強く打ち出した「妙心寺展」ご期待ください。

福岡県太宰府市石坂4-7-2
電話ハローダイヤル: 050-5542-8600

常任幹事会 常置委員会

報告

平成21年10月28日(水)、日本PTA会議室にて、常任幹事会、常置委員会が開催されました。主な協議内容は次の通りです。

- ### 常任幹事会
1. 開会の辞
 2. 会長挨拶
 3. 成立宣言
 4. 議長選出
 5. 議事録署名人選出

- ### 常置委員会
6. 議事
 - (1)業務報告
 - (2)常置委員会報告
 - (3)年次表彰式について
 - (4)全国研究大会みやぎ大会について
 - (5)全国研究大会ちば大会について
 - (6)日中友好「少年少女の翼」について
 - (7)平成21年度「マスメディア調査」について
 - (8)平成21年度「教育に関する保護者の意識調査」について
 7. 閉会の辞

- ### 環境対策委員会
- 《協議事項》
1. 平成21年度「子どもとメディアに関する意識調査」について
 2. コンビニ等における成人雑誌等の陳列、販売法について
 3. キャッチフレーズ等の一斉発信について
 4. サイト等運営会社との情報交換について
 5. その他

- ### 厚生委員会
- 《協議事項》
1. 「たのしい子育て全国キャンペーン」の進め方
 - ①キャンペーンの意義・趣旨確認
 - ②三行詩と写真の募集方法
 - ③表彰の仕方
 2. 平成20年度厚生委員会の成果の周知方法について
 - ①「食育及び子どもの生活リズムに関する事例集」
 3. その他

総務委員会

- 《協議事項》
1. 公益法人移行に対する対応について
 2. 定款整備について
 3. PTA主催の講演会講師の選定基準について
 4. その他

教育問題委員会

《協議事項》

あまり参加されず、ご近所におつきあいもあまりされていない方だった。学校に対していいイメージを持ってもらえなかったようで当初は気が進まなかったようだが、周りの委員さんの積極的な誘いもあって徐々に活動が始めた。そのうち、学校へ足を運ぶ回数が増え、委員さん同士や先生方と話をしたり、新聞作りの相談をしている内に、いつの間にか委員会の活動が楽しくなり委員の任期が終わってもPTA行事に積極的に参加されるようになったという。その方は、委員になったおかげでお話のできる友達

「あるPTA会長の日記から」

PTAの必要性を私は考える。PTAはなんのためにあるのだろう。なぜ、必要なのだろう。そして、その答えをどのようにして全ての保護者に伝え感じてもらえるか。今、大きくアクションを起こして行かなければ変わらないう。ここ数年、PTA不要論が出てきている。実際、PTAが無くなった学校もあると聞いた。PTAがあっても委員のPTA離れが起きている。

PTAの 大切さ

PTAの役割、私が考えるには保護者と先生、地域がふれあい、情報交換し、そして心

らうには、もっと委員さんのことを知り、見たりと委員さんに近付いていくことなのかな。先日聞いた話、あるPTAが委員を決めるのに輪番制を採用した。初年度にある委員さんが広報委員に当たってしまう。その方は、委員になったおかげでお話のできる友達

ば、PTA会費の是非も問われている。会費は会を運営するために必要な物だ。委員の皆様からお預かりしている大切な会費はしっかりと使わなければならない。明日も子どもたちを元気にしていこう。地域も元気にしていこう。子どもたちの安心で安全な未来のために立ち上がったのだから。

本紙328号では、優良PTAおよび功労者表彰式と全国各地で開催されたブロード大会の様子をお届けしています。いずれも、未来を担う子どもたち



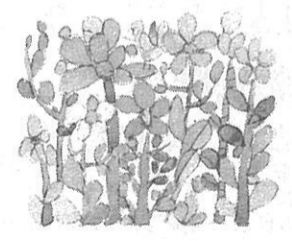
本紙328号では、優良PTAおよび功労者表彰式と全国各地で開催されたブロード大会の様子をお届けしています。いずれも、未来を担う子どもたち

ができて良かった。先生とも気軽に話ができたり、保護者として話されているらしい。やはり、PTA活動を通じて保護者が元気になる子どもたちも元気になるし、先生も学校も元気になるんだ。PTA活動といえ

PTAには賛否両論、いろんな考えがあるが、私の目指す「全員参加の楽しい中身のあふれるPTA活動」は必要であると確信する。今日も夢見よう。降り注ぐ陽の光の下、笑顔で駆け回る子どもたち、楽しい話の尽きない大人たち、行き交う町の人々は威勢よく言葉を交わし合う。

地域の学校との交流もを町全体で育てる視点から、近隣の異種学校と交流活動を積極的に実施している。

Column 学校の窓から



本校では、全ての大人が子ども達の教育に関わり、地域と学校が力を合せていくことを目指しています。そこで、学校は地域の大人達を結びつけるキーステーションとなり、子ども達を育てる支援を

地域との結びつきを強めて 学校をキーステーションに

はじめに 東京・墨田区は浅草に隣接し、江戸の文化と伝統が今なお残る地域として発展してきている。伝

度より朝鮮学校との交流を始め、民族芸能の披露や教員相互の授業研修を行っている。